

# JSDA 会報

2016 年・秋号



## contents

4-7

### 特集

木下新会長にインタビュー

2

### 特別寄稿

オリンピックと建築モジュール

株式会社佐藤総合計画

執行役員 アーキテクトサークル プリンシパル

鳴海 雅人 氏

2

### NEWS

「平成 28 年度防火設備検査員制度」

学科講習がスタート!

3

### ズーム UP

「防火設備検査員に関する

講習実技講習」の報告会を開催!

8

### 役員紹介

9

### 総務委員会だより

第20回 女性活躍推進法

10

### 統計データ



# オリンピックと建築モジュール

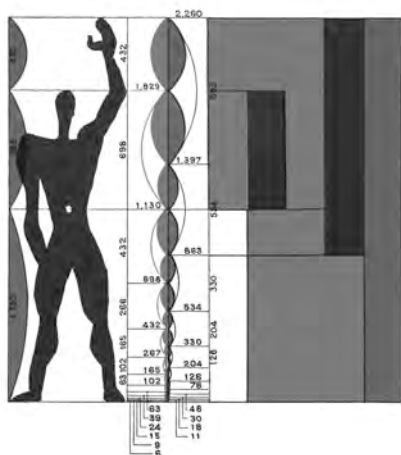
株式会社 佐藤総合計画  
執行役員 アーキテクトサークル プリンシパル  
鳴海 雅人



空間を体験したときに建築の風景は完成する。私たちは自らの意志と身体で、建築の新しい風景を創らなければならない。

ル・コルビュジエの手によって生まれた「モデュロールマン」は、いつも手を挙げて立っている。建築には人体に合った尺度が必要なのだ。モデュロールは単に機械的な尺度ではなく、建築を美しくするためのものだ。

コルビュジエは1対1.618という「黄金比」を使い「モデュロールマン」を描いた。身長はおよそ1800ミリ、手のひらのサイズは180ミリだ。



モデュロールマン  
出典：ル・コルビュジエ  
全作品集 第5巻  
発行・A.D.A EDITA Tokyo

2020年には東京オリンピックがやってくる。  
十数年前の夏、アテネから西へ車で5時間、ペロポネソス

半島の山間部、クロノスの丘を見下ろす林のなか、古代オリンピックの遺跡にいた。巨大な列柱が崩れ、二千年という時を経た廃墟は、タイムスリップでもしたかのように、濃密な太古の時間に溶け込みそうな気分になる。崩れた石のトンネルを通ると、最古のオリンピック競技場であるスタジアムの前に出る。といっても、200×30mの直線の駆けっこ場が無表情のままそこにあるだけだ。青空の下、平石で引いたスタートとゴールライン（距離はおよそ192m）が、白い砂埃の中に埋まっている。ここで全裸の体力自慢たちが、栄誉をかけて猛進していたわけだ。

オリンピックの起源伝承のひとつによると、怪力の英雄ヘラクレスが、つま先に次のかかとを合わせる古代の測量方法で、600歩（オリンピック・フット）分の距離を定めて、ここで最初の徒競走を行ったという。そこから推定すると、ヘラクレスの足のサイズは320ミリとずいぶん大きいですが、手のひらもモデュロールマンの180ミリより大きかったのだろうか。

古代の英雄たちは、現代のアスリートとさほど差がなかったかもしれない。勝者はおごることなく、オリーブの冠をいただき、真っ先に神に感謝を捧げた。

現代では真っ先に人間に感謝を捧げる、そんな建築を魅力的にさせるには、手のひらや足のサイズのヒューマンスケール、そして「空間や開口部（窓・ドア・シャッター）のモジュール」に深く、深く関わることだ。

## NEWS

### 「平成28年度防火設備検査員制度」 学科講習がスタート！

平成28年6月1日に施行された防火設備検査報告制度に関わる「平成28年度防火設備検査員制度」の学科講習が、（一財）日本建築防災協会の主催により9月20日、21日の両日からスタートしました。27年度の事前講習に続き第二回目の開催になりますが、今年度は開催期日が9

月20日～21日、10月4日～5日、11月1日～2日の3回に分けられ、開催地は札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の7地区の会場にて予定されています。学科講習終了後は、講習修了者（合格者）を対象に「防火設備検査員に関する講習 実技講習」が開催される予定となります。実技講習は昨年と同様に、当協会が、（一財）日本建築防災協会より受託し、会員各社から選抜された講師陣によって各地にて開催され、新たな防火設備検査資格者が誕生となる運びです。

## 「防火設備検査員に関する講習実技講習」の報告会を開催！

平成 28 年 9 月 9 日、新宿にて「防火設備検査員に関する講習実技講習」の報告会及び慰労会が開催されました。田中事務局長の開会の言葉から始まり、沖村専務理事から実技講習の報告が行われました。また、木下会長をはじめ後藤常任理事、岩部顧問の挨拶を頂きました。続いて、潮崎副会長の乾杯後、実技の講師を務められた方々からそれぞれ講習での苦労話などスピーチをいただきました。



### 木下会長の挨拶

本日の集まりは、防火設備の点検検査報告制度の実現と制度に欠かせない検査員資格の実技講習に携わっていただいた皆様のご苦勞をねぎらうことを目的に企画されています。新規講習修了者の実技講習会が、本年 3 月から始まりまして、7 月までの全国 7 会場で、約 5670 名の方が受講されました。これだけの大規模な講習会を無事に終了することが出来たのも皆様のご努力の結果です。各社の講師、スタッフの皆様に、御礼を申し上げます。



### 白川 信幸さん 三和シャッター工業(株)

4 月から 6 月までの 9 日間で、約 680 人の方が受講し、修了されました。大変だったのが、東京から毎回 5 人以上講師の方に来てもらいました。全日程を同じ講師陣で行うのではなく、日によって変わることでした。講習間際になっても誰がくるのかわからない状態です。そんな状態の中で、全日程を来ていただいた方もいました。感謝するとともに、来期以降も、必ず来ていただきたいと思います。私も福岡会場を担当する以上は、防火設備検査不備だけが人を出さない覚悟で講習に臨んで行きます。



### 北川 孝夫さん 文化シャッターサービス(株)

講師に任命されてから心配でしたが、皆様とビデオのおかげでスムーズに講習会を進めることが出来ました。受講者の皆様も熱心に受講され、シャッターについて理解していただけたと思います。メンテサービスの専門メーカーとして、ひとこと言いたいのですが、点検というのは危険な作業です。声を大にして言っていたつもりですが、その点が足りなかった気がします。来年は、さらに受講者に有意義な講習が出来るように頑張りたいと思います。



### 本山 保志さん 東洋シャッター(株)

大きな問題もなく、担当した 17 日間（大阪会場・広島会場）を無事終了出来たことが一番嬉しかったことです。しかし、大変だったことはありました。手動シャッターをチェーンで開閉するのですが、ジャラジャラと大きな音がします。当日、隣の会場では、面接試験を行っており、静かに講習を行う必要がありました。そこで、チェーン式からハンドル式に変更すると、スムーズに進めることが出来ました。来年はハンドル式での講習も考えて欲しいと思います。



## 木下新会長に インタビュー

平成 28 年 5 月、一般社団法人日本シャッター・ドア協会の 10 代目会長に選任された木下和彦会長に、就任の感想や 2016 年度の事業計画の方向性、そして今後の協会の方針などについてお話を伺いました。

——はじめに、5 月から会長に就任されてどのようなお気持ちですか

それ程の気負いはありません。ただし、日本シャッター・ドア協会の会長に就任とほぼ同時に、防火設備の定期検査報告制度がスタートし、この制度の円滑な導入・運営が協会として社会的責任が極めて重いと考えていますので、まずは新しい検査制度を円滑に定着させたいという気持ちです。

そもそも当協会の活動目的は、「シャッター、ドア及び防火設備の性能向上と適切な品質・安全性を確保し、健全な普及促進を図ることによって事故又は災害を防止し、もって社会に貢献することを目的とする。」となっています。その一環として検査報告制度もスタートしていますが、われわれ会員企業は、自社の健全な成長を追求しながらも併せて業界全体の発展についても力を発揮しなければならないと考えています。

私が日ごろから敬愛する松下幸之助の著書「実践経営哲学」に、『共存・共栄は存続の条件』という有名な言葉があります。その部分を引用すると、『企業は社会の公器であり、企業は、社会とともに、発展していくのでなければ



ならないが、それは、企業活動によって、社会もまた、栄えていくということではなくてはならない。また、一つの会社だけが栄えるということは、一時的にはあり得ても、長続きはしない。いわゆる共存・共栄ということではなくては真の発展・繁栄はありえない、それが自然の理であり、社会の理法なのである。自然も人間社会も共存・共栄が本来の姿である』と述べています。

私が JSDA の副会長として 1 年半の経験から感じていることは、この共存・共栄の在り方を、各自がいかにしっかりやっていけるかが重要だということです。つまり、協会として社会インフラを向上させ、シャッター・ドアが安

全な防火設備としての確実な機能を発揮する設備を社会に提供することで、社会とともに各社が発展し、結果として業界全体の信頼を高めることが、松下幸之助の言う共存・共栄につながるのであろうと思っています。そのためにも、私は先頭になって業界の地位向上と発展にまい進するつもりです。是非会員の皆様方にもご協力いただきたい。

### ——業界を取り巻く環境についてはいかがでしょうか

当協会と密接に関連しているのが、建設市場であることは言うまでもありませんが、住宅着工戸数はトレンドとしては減少しており、今後もこの傾向は変わらないでしょう。また、非住宅着工床面積も減少傾向にあり、人口や世帯数も確実に減少しています。そういうことを踏まえると、長い期間においては建設市場がシュリンクしていくでしょう。しかし、中期的には首都圏では東京オリンピックに関連したインフラの整備でスタジアムや選手村など直接の建設需要もそれなりにあり、また、都市開発やホテル建設など間接需要は大きいものがあるでしょう。それに何といっても建設関連業界全体のマインドの好転が大きいのではないのでしょうか。ただ、地方では実際に各地に行ってみて感じるのですが、首都圏と比べますと先行きが明るいとはいえません。そういう中で、シャッター・ドアに付随して環境建材の開発や防火設備の新しい検査制度も始まり、全体的な需要の拡大ができています。スタートしたばかりの防火設備の新しい点検制度も2018年ごろには年間の点検数は膨大になっているでしょうし、計画的に対応できなければ、業界全体の社会的責任が果たせず、大きな不利益を蒙ることになるでしょう。特に、今後は新しい需要をもとめて浸水防止用設備の開発も各社が競って行っており、より品質の向上を実現していかなければなりません。

## 2016年度の事業計画について

### 第一章 定常的事業

#### 1 調査研究普及事業

- (1) 調査研究
- (2) 技術基準の策定
- (3) 製品安全への取り組み
- (4) 維持管理における安全対策の推進
- (5) 資料収集・普及事業

#### 2 評定登録講習事業

- (1) 所定の性能を有するシャッター及びドアの認定、登録等
- (2) シャッター及びドアの施工及び点検等に関する人材育成
- (3) 防火設備検査員講習における実技講習の実施

### 第二章 特別事業

#### 1 シャッター及びドアのストック対策の推進

#### 2 技能検定制度導入への取り組み



### ——防火設備の定期検査報告制度についてはどのようにお考えでしょうか

前会長からの長年の悲願とも言える歴史的な事業が、今年の6月からようやくスタートしました。当協会としては、一般財団法人日本建築防災協会から、防火設備検査員資格取得における実技講習を受託しました。会員各社の講師の方々の尽力もあって初年度は、約5,700名の方が全国各地で受講しました。この実技講習事業は規模こそ今年度に比べて縮小するものの、継続的に実施しなければなりませんので、1年目の反省点を検証し、次年度に繋げて行きたいと思います。また、協会として法の求める防火設備の検査が的確に行われるための積算のガイドラインとなる参考資料として「防火設備検査の手引き」を作成しました。新しい検査制度はまだ施行したばかりの制度ですので、色々なことが手探りではありますが、この3年間の間に少なくとも一度は資格者による検査をしなければならない訳ですから、法改正の主旨に沿った対応がきちんとできるよう、協会としても万全の体制で臨む必要があります。今後若い人がたくさん受講していただけるような仕組みをつ



くっていきたいと考えています。会員各社は社員全員に検査制度の主旨を周知徹底し、確実な検査の実施を行っていただきたいと思います。

### ——技能検定制導入についてはどのようにお考えでしょうか

業界の地位向上に資する事業というのが、当協会の活動の大きな意義でもあります。現在シャッターやドアの施工技術者が対象となる、国家資格としての技能資格者制度の導入を目指して、準備を進めています。防火設備の検査報告制度がスタートしましたが、既設の防火設備検査には、検査員という資格が制定されたにも拘わらず、新規にシャッターの取付を行う人のための技能としての国家資格はまだありません。技能検定とは、働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制で、近い業界で申し上げれば、サッシや自動ドアなどは該当職種として認められています。試験に合格すると合格証書が交付され、「技能士」と名乗ることができます。厚生労働省が所管している資格ですが、この中に是非ともシャッターやドアの施工を該当職種として追加していただきたいし、当協会が指定試験研究機関となることができるよう取り組んでいます。制度がスタートしたことを一つの機会として捉え、新規施工の資格者としての地位をより向上させることにより業界の地位向上にもつなげて行きたいと思っています。

### ——浸水防止用設備の技術基準についてはどのようにお考えでしょうか

異常気象による集中豪雨が毎年より激しくなっているこ

# 木下新会長にインタビュー

とは誰もが感じていることだと思われますが、当協会では防災事業の一環として浸水防止用設備についても積極的に取り組んでいます。浸水と言っても、河川の決壊による浸水と地下街への浸水、豪雨による商店街のシャッターなどからの浸水ではそれぞれ浸水レベルが違います。従来までの浸水防止用設備は土木向けの設備で、近年では各社は都市型水害向けの建材の研究開発を進めています。協会としてどういう基準をつくるかが重要で、新しく会員として加わっていただいた企業もありますが、具体的に浸水防止用設備に関する基準を検討し、普及に注力していくことで、今後税の優遇や補助金の給付が実施されようとしており、当協会の基準が社会的な標準として使われるよう進めて行きます。

## 平成 28 年度 常設委員会

- 業務委員会
- 総務委員会
- 工事委員会
- 講習委員会
- 品質・安全委員会
- メンテナンス委員会
- 連動機構・装置等自主評定専門委員会
- 企画広報委員会
- 浸水防止用設備委員会
- シャッター技術委員会
- オーバーヘッドドア技術委員会
- ドア技術委員会
- 耐火クロスクリーン専門委員会
- 高速シートシャッター専門委員会
- 窓シャッター専門委員会

## ——JSDA の今後のあり方についてどうお考えでしょうか

私が会長になったからと言って急に何かを大きく変えるわけではありませんが、前会長の方針を踏襲しながらも基本に立ち返り、会員各社が日本シャッター・ドア協会に加入していることのメリットを感じていただくことを主眼として取り組んで行きたいと考えています。会員数が少ないと協会として発展をしていきませんが、協会が活性化し、繁栄しないと会員数も増えていきません。そのためにも、どのような情報を提供できるのか、会員のみなさんは何を期待しているのか、しっかり把握することから始める必要があると思います。

防火設備の検査報告制度が施行されましたが、あくまで防火についてだけで、普段使用する管理用シャッターについても経年劣化で事故が起きる恐れがあります。社会的責任を果たすためにも、他の用途の商品についての保守点検に力を注いでいきます。

また、協会には現在 15 の常設委員会があります。それぞれ非常に重要なテーマを設定して取り組んでいただいていると思います。各社からリーダーとして若い人に出てきてもらって運営していただきたいですね。各位お忙しい中恐縮ではありますが、できるだけ進捗に責任を持って必ず前へ進めていただきたい。それぞれのテーマの進捗が当協会の社会的責任を果たすことおよび業界の地位向上につながっていることを自覚しながら、みなさんのご協力をいただき、是非とも一般社団法人日本シャッター・ドア協会を盛り上げていただきたいと思います。

各位の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

# 役員 紹介



**木下 和彦 会長**  
三和シャッター工業（株）  
代表取締役副会長



**小松 進 副会長**  
田中サッシ工業（株）  
代表取締役社長



**潮崎 敏彦 副会長**  
文化シャッター（株）  
代表取締役社長



**沖村 恒雄 専務理事**  
（一社）日本シャッター・ドア協会  
専務理事



**後藤 忠義 常任理事**  
（株）日本シャッター製作所  
代表取締役社長



**岡田 敏夫 常任理事**  
東洋シャッター（株）  
代表取締役社長



**山田 智 常任理事**  
（株）LIXIL 鈴木シャッター  
代表取締役社長

|    |                                   |    |                                 |
|----|-----------------------------------|----|---------------------------------|
| 理事 | <b>安中 昇</b> （株）安中製作所 代表取締役社長      | 理事 | <b>岡 陽一</b> 東鋼シャッター（株） 代表取締役社長  |
| 理事 | <b>小俣 雅宏</b> 小俣シャッター工業（株） 代表取締役社長 | 理事 | <b>梶山 博俊</b> 大和シャッター（株） 代表取締役社長 |
| 理事 | <b>川上 克己</b> （一社）日本火災報知機工業会 専務理事  | 理事 | <b>佐々木知也</b> 東工シャッター（株） 代表取締役社長 |
| 理事 | <b>佐土原 剛</b> 金剛産業（株） 代表取締役社長      | 理事 | <b>手島 正人</b> （株）手島製作所 専務取締役     |
| 理事 | <b>八木 隆</b> 日本フネン（株） 取締役          | 理事 | <b>吉田 倬郎</b> 工学院大学 名誉教授         |
| 監事 | <b>本多 直巳</b> （一社）リビングアメニティ協会 専務理事 | 監事 | <b>鐵矢 知志</b>                    |
| 顧問 | <b>岩部 金吾</b> 文化シャッター（株） 取締役相談役    |    |                                 |



## 第 20 回 女性活躍推進法

### はじめに

企業内の女性社員に能力を最大限発揮できる機会を提供し、新たな価値を創造することにより企業競争力を高めていく。これが、少子高齢化に急速に向かう日本社会にとっても喫緊の課題になっています。これを実現することを目指して、2015 年 8 月に「女性活躍推進法」が成立しました。各企業では、法律へ最低限の対応をするだけに止まらず、持続的な成長を目指した積極的な対応が求められています。

### 法律対応

#### <ステップ 1>

自社の女性の活躍状況を把握し、課題分析を行う

基礎項目

- ①採用者に占める女性比率
- ②勤続年数の男女差
- ③労働時間の状況
- ④管理職に占める女性比率

#### <ステップ 2>

行動計画の策定、届出、社内周知、公表を行う

行動計画策定（2016 年 4 月 1 日まで）

- ①計画期間、②数値目標、③取組内容
- ④取組の実施時期

厚労省 HP で公表される。

#### <ステップ 3>

自社の女性の活躍に関する情報を公表する

優秀な人材の確保と企業競争力向上につなげるため、公表項目の中から、適切と考える項目を 1 つ以上選んで公表する。

- ①採用者に占める女性比率
- ②勤続年数の男女差
- ③管理職に占める女性比率他

#### 女性の活躍に向けて、考えられる分野

- ◆女性の積極採用に関する取組
- ◆配置・育成・教育訓練に関する取組
- ◆継続就業に関する取組
- ◆長時間労働は正など働き方の改革に向けた取組
- ◆雇用形態や職種の転換に関する取組
- ◆女性の再雇用や中途採用に関する取組
- ◆性別役割分担意識の見直しによる職場風土改革に関する取組

### 女性活躍推進に関する認定取得

行動計画の策定、策定した旨の届け出を行った事業主のうち、女性活躍推進に関する取組の実施状況が優秀な事業主は、都道府県労働局への申請により、厚生労働省の認定を受けることができます。



認定を受けた事業所は、労働省が定める認定マークを商品や広告に付すことができ、女性活躍事業主であることを PR でき、優秀な人材の確保や企業イメージの向上等につながることが期待できます。

| 評価項目       | 評価基準                                                                                                                                                                     |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 採用         | 男女別の採用における競争倍率（応募者数 / 採用者数）が同程度であること。                                                                                                                                    |
| 継続就業       | 「女性労働者の平均継続勤務年数 ÷ 男性労働者の平均継続勤務年数」が雇用管理区分ごとにそれぞれ 0.7 以上であること、他。                                                                                                           |
| 労働時間等の働き方  | 雇用管理区分ごとの労働者の法定労働時間外及び法定休日労働時間の平均が、直近の事業年度の各月ごと全て 45 時間未満であること。                                                                                                          |
| 管理職比率      | 管理職に占める女性労働者の割合が別に定める産業ごとの平均値以上であること、他。                                                                                                                                  |
| 多様なキャリアコース | 直近の 3 事業年度のうち、以下について大企業は 2 項目以上、中小企業は 1 項目以上の実績を有すること。<br>A. 女性の非正社員から正社員の転換<br>B. 女性労働者のキャリアアップに資する雇用管理区分館の転換<br>C. 過去に在籍した女性の正社員としての再雇用<br>D. おおむね 30 歳以上の女性の正社員としての採用 |

厚生労働省 女性活躍推進特集ページより抜粋

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000091025.html>

# 統計データ

## ■過去1年間出荷推移＜シャッター＞

(㎡、前年比・電動化率 %)

|           | H27.9月  | 10月     | 11月     | 12月     | H28.1月  | 2月      | 3月      | 4月      | 5月      | 6月      | 7月      | 8月      |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 重量シャッター   | 105,427 | 108,534 | 98,352  | 95,660  | 91,866  | 97,120  | 86,942  | 69,881  | 66,365  | 81,561  | 84,221  | 86,495  |
| 前年比       | 4.7     | 4.4     | 4.6     | 11.7    | 11.7    | 14.7    | -5.0    | -26.4   | -26.1   | -23.8   | -24.4   | -12.7   |
| 軽量シャッター   | 193,247 | 224,696 | 196,520 | 184,681 | 140,106 | 159,030 | 180,755 | 181,704 | 181,551 | 191,052 | 178,049 | 169,820 |
| 前年比       | 1.0     | 8.5     | 6.9     | 6.4     | -1.0    | 5.7     | 2.9     | -0.9    | 7.9     | -1.9    | -8.0    | 7.5     |
| 電動化率      | 25.6    | 25.9    | 26.1    | 27.8    | 27.4    | 29.0    | 28.1    | 26.4    | 25.4    | 28.3    | 28.9    | 28.4    |
| グリルシャッター  | 3,308   | 4,134   | 4,234   | 3,970   | 3,934   | 3,875   | 3,921   | 3,019   | 2,829   | 3,266   | 3,829   | 3,595   |
| 前年比       | -15.8   | 4.7     | -0.9    | -4.7    | 10.3    | -11.4   | 7.1     | -8.7    | 6.7     | 1.7     | 10.7    | 60.4    |
| オーバーヘッドドア | 21,940  | 25,757  | 26,515  | 23,314  | 19,969  | 22,407  | 30,624  | 17,868  | 18,409  | 22,319  | 22,647  | 24,383  |
| 前年比       | -0.5    | 17.9    | 17.2    | 8.3     | -2.0    | 14.2    | 34.9    | -1.5    | 14.9    | 7.4     | -10.6   | 11.9    |
| 合計        | 323,922 | 363,121 | 325,621 | 307,625 | 255,875 | 282,432 | 302,242 | 272,472 | 269,154 | 298,198 | 288,746 | 284,293 |
| 前年比       | 1.9     | 7.8     | 6.9     | 7.9     | 3.3     | 9.0     | 2.9     | -9.1    | -2.7    | -8.5    | -13.5   | 1.1     |

## ＜ドア＞

(枚、前年比 %)

|        | H27.9月 | 10月    | 11月    | 12月    | H28.1月 | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 鋼製重量ドア | 43,203 | 37,227 | 48,786 | 40,356 | 39,899 | 38,663 | 47,275 | 28,416 | 28,487 | 30,801 | 33,770 | 34,953 |
| 前年比    | -6.5   | -14.1  | 24.7   | -8.9   | 4.8    | -16.7  | -15.8  | -20.6  | -8.4   | -4.9   | -2.2   | -5.0   |
| 鋼製軽量ドア | 36,071 | 34,461 | 33,294 | 34,986 | 36,081 | 38,574 | 33,158 | 24,186 | 24,840 | 31,773 | 25,621 | 27,377 |
| 前年比    | 6.6    | -14.3  | -14.7  | -15.1  | -21.0  | -15.7  | -6.8   | -8.4   | 5.5    | 8.2    | -22.7  | -7.8   |

## ■年度別出荷推移＜シャッター＞

(㎡、前年比・電動化率 %)

|           | H16       | H17       | H18       | H19       | H20       | H21       | H22       | H23       | H24       | H25       | H26       | H27       |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 重量シャッター   | 1,480,370 | 1,494,399 | 1,534,537 | 1,436,147 | 1,365,508 | 839,568   | 839,415   | 875,978   | 993,232   | 1,145,215 | 1,090,735 | 1,186,252 |
| 前年比       | 11.5      | 0.9       | 2.7       | -6.4      | -4.9      | -38.5     | -0.0      | 4.4       | 13.4      | 15.3      | -4.8      | 8.8       |
| 軽量シャッター   | 3,473,445 | 2,935,834 | 2,871,880 | 2,488,705 | 2,175,375 | 1,972,917 | 1,915,847 | 2,039,568 | 2,271,832 | 2,320,018 | 2,120,235 | 2,176,807 |
| 前年比       | 14.3      | -15.5     | -2.2      | -13.3     | -12.6     | -9.3      | -2.9      | 6.5       | 11.4      | 2.1       | -8.6      | 2.7       |
| 電動化率      | 24.1      | 25.1      | 26.2      | 26.3      | 25.4      | 24.5      | 26.2      | 24.5      | 24.0      | 23.5      | 26.5      | 27.0      |
| グリルシャッター  | 100,736   | 100,244   | 90,630    | 79,124    | 61,751    | 54,719    | 52,483    | 55,410    | 53,207    | 56,361    | 48,210    | 42,245    |
| 前年比       | 4.3       | -0.5      | -9.6      | -12.7     | -22.0     | -11.4     | -4.1      | 5.6       | -4.0      | 5.9       | -14.5     | -12.4     |
| オーバーヘッドドア | 323,150   | 297,659   | 289,307   | 240,523   | 217,932   | 174,936   | 178,341   | 204,003   | 226,406   | 269,558   | 242,275   | 272,597   |
| 前年比       | 13.0      | -7.9      | -2.8      | -16.9     | -9.4      | -19.7     | 1.9       | 14.4      | 11.0      | -12.8     | -10.1     | 12.5      |
| 合計        | 5,377,701 | 4,828,136 | 4,786,354 | 4,244,499 | 3,820,566 | 3,042,140 | 2,986,086 | 3,174,959 | 3,544,677 | 3,791,152 | 3,501,455 | 3,677,901 |
| 前年比       | 13.2      | -10.2     | -0.9      | -11.3     | -10.0     | -20.4     | -1.8      | 6.3       | 11.6      | 7.0       | -7.6      | 5.0       |

## ＜ドア＞

(枚、前年比 %)

|        | H16     | H17     | H18     | H19       | H20     | H21     | H22     | H23     | H24     | H25     | H26     | H27     |
|--------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 鋼製重量ドア | 557,553 | 623,432 | 639,514 | 635,875   | 493,689 | 436,415 | 448,242 | 449,988 | 470,919 | 450,218 | 488,835 | 466,030 |
| 前年比    | -11.5   | 11.8    | 2.6     | -0.6      | -22.4   | -11.6   | 2.7     | 0.4     | 4.7     | -4.4    | 8.6     | -4.7    |
| 鋼製軽量ドア | 896,529 | 956,026 | 971,002 | 1,003,218 | 888,996 | 680,918 | 618,079 | 574,528 | 415,782 | 415,591 | 432,918 | 388,787 |
| 前年比    | 0.3     | 6.6     | 1.6     | 3.3       | -11.4   | -23.4   | -9.2    | -7.0    | 14.5    | -0.0    | 4.2     | -10.2   |

注)・「鋼製重量ドア」は鋼製建具を、「鋼製軽量ドア」は鋼製軽量建具を指します。  
・鋼製重量ドアは、ガスチャンバー、点検口を含みます。

# 新日鐵住金の高耐食性めっき鋼板

# SuperDyma®

スーパーダイマ

**JIS申請中!**

**環境に優しいクロメートフリー処理!!**

## 「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」へ



**新日鐵住金**

薄板営業部

スーパーダイマの詳しいご案内は

スーパーダイマホームページ URL/

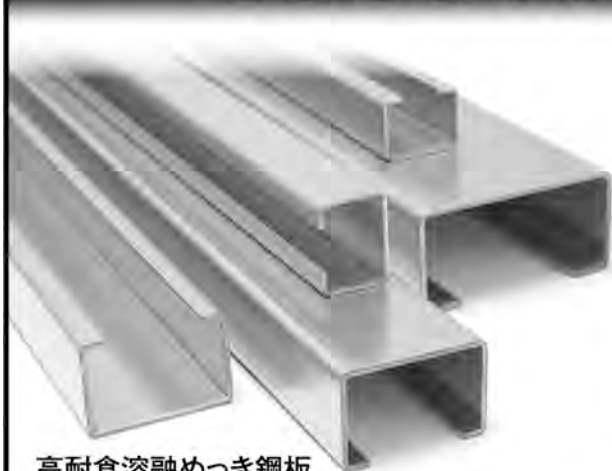
<http://www.nssmc.com/product/superdyma/>

お問い合わせ

E-mail

[superdym@jp.nssmc.com](mailto:superdym@jp.nssmc.com)

## ZAM®はニーズに合わせ、 さまざまな形状がご提供できます。

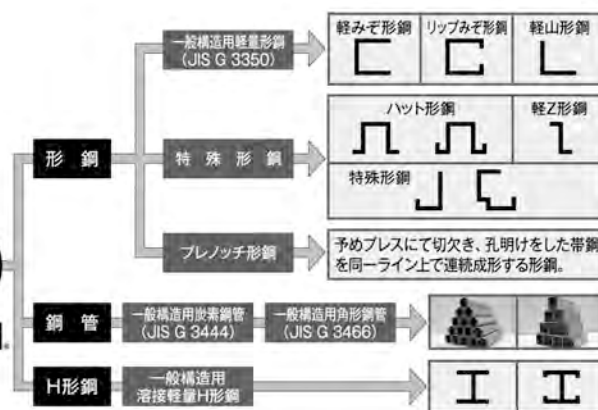


高耐食溶融めっき鋼板

# ZAM®

※「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。

「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板の商品名です。



3大  
特長

- ①コストダウン…高耐食性による長寿命化、後めっき代替が可能です。
- ②寿命が長い…耐食性が溶融亜鉛めっきに比べ、10~20倍優れています。
- ③環境にやさしい…長寿命で、少ないめっき付着量の省資源型商品です。

※平成24年11月に溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板が、日本工業規格JIS G 3323として規格登録されました。

**日新製鋼株式会社**

●本 社 〒100-8366 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル TEL.03-3216-5166

●大阪支社 ●名古屋支社 ●中四国支社 ●北海道支社 ●東北支社 ●新潟支社 ●北陸支社 ●岡山支社 ●四国支社 ●九州支社



## ベトナム・ホーチミン

1975 年のベトナム戦争終結前まで“サイゴン”と呼ばれていたベトナム最大の商業都市であるホーチミン。かつてフランスの統治下であったことから、フランスの影響を受けて建てられた古典的な欧風建造物が現在も多く見られることから「東洋のパリ」とも称される。また、フランス統治前は隣国の中国に長く統治されていたため、漢字・大乘仏教・儒教・道教といった中国文化の影響も多く受けている。

ベトナムの街並みや人々の生活を見てみると、中国、フランス、そしてベトナムの3国の文化が上手く調和している不思議な国だと感じる。



フランス領インドシナ時代(1891 年)に建てられたコロニアル様式の“サイゴン中央郵便局”。



中国とフランスの影響を受けたベトナム料理。



旧暦 8 月 15 日の中秋節(日本の十五夜)は中国と同じく月餅を食べるのが習慣。



ホーチミンで一番高いビル“ビテクスコ・フィナンシャル・タワー”。デザインはベトナムの国花である蓮のつぼみをモチーフにしている。

## JSDA 会報 2016 年・秋号

発行日:2016 年 11 月 通巻第 48 号

発行者:一般社団法人 日本シャッター・ドア協会

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-5-8 共和 15 番館ビル 2F

tel.03-3288-1281 (代) /fax.03-3288-1282

URL:<http://www.jsd-a.or.jp>